

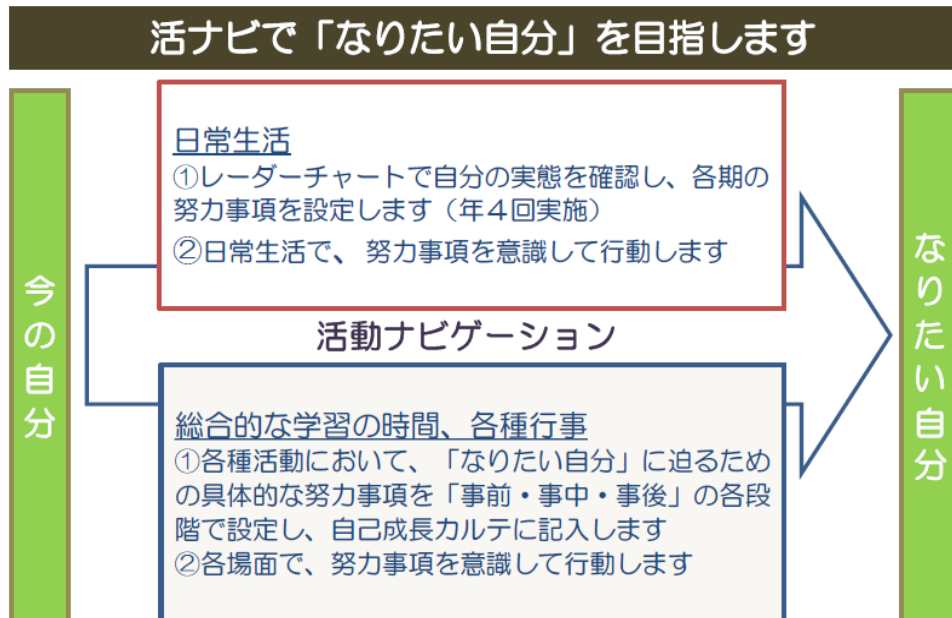
活動ナビゲーション・Kobari システム

活動ナビゲーション・Kobari システム（通称：活ナビ）とは

「なりたい自分」像の達成に向けて、日々の生活に見通しをもち、「自分と向き合う」「他者とかわる」「集団に貢献する」の3つの視点から、定期的に具体的努力事項の設定と振り返りを継続的に行いながら、自己実現を図るスキルを高めていく取組です。

指導の方針

- ・年度初めに「なりたい自分」像を設定し、日常生活、総合的な学習の時間、各種行事においてその達成に向けて、常に見通しをもちながら生活できるよう継続的に支援する。
- ・「なりたい自分」像や「学級目標」の達成に迫るための具体的努力事項の設定する際には、仲間とかわり合う活動を組織する。
- ・活ナビガイドブックに沿って、全職員が足並みをそろえて全校体制で実施する。



指導の重点と具体的方策

| 指導の重点 | 具体的方策 |
|-----------------|--|
| ○「活ナビガイドブック」の活用 | <ul style="list-style-type: none"> ・授業の進め方（指導案）や資料記入例、学級掲示例など掲載し、全学級で全職員が迷いなく、足並みをそろえて実施できるようにする。 ・「活ナビじゃんけん」等、仲間とかわり合わせることで、妥当性の高い努力事項や自己実現への意識を高められるようにする。 ・担当しているクラスの「なりたい自分」や「アクションシート」に折りに触れ話題に出すことで、継続的に意識化、自覚化できるようにする。 ・「活ナビ」を実施したことによる生徒の変容を客観的に見取り、その結果を共有、集積していく。 ※調査は既存のもの（「一年間のあゆみ」の記述内容、「学校評価」の数値、「新潟市生活・学習意識調査」の数値）から抽出するものとし、新たに行うことはしない。 |
| ○「かわり合う活動」の重視 | |
| ○教師の働き掛け | |
| ○成果の共有 | |

